

第3回東大和市公共施設再配置計画策定懇談会 会議要録

開催日時	令和8年6月29日（月） 午後2時30分から4時30分まで		
開催場所	東大和市役所 会議棟 第1・2会議室		
出席者	○東大和市公共施設再配置計画策定懇談会委員 讃岐 亮委員（座長）、並木史浩委員、木内健司委員、岡田亜希子委員、樋口健次委員、本田未奈委員、島津徳彦委員、池田陽子委員、内野 恵委員（欠席：石坂真奈美委員、飯塚庫健委員） ○東大和市公共施設再配置計画策定懇談会委員（オンライン参加） 湯浅かさね委員（副座長） ○事務局 武越政策経営部長、関根公共施設再編担当部長、大野公共施設再編課長、笠原主任田口教育部長、仲山教育総務課長、長瀬学校施設更新等担当課長 ○受託者 株式会社ファインコラボレート研究所		
会議次第	1 開会 2 会議の公開 3 座長挨拶 4 議題 （1）学校施設とその他公共施設の複合化について （2）その他 5 閉会		
配布資料	・ 次第 ・ 資料1 「みんなの学校」検討資料一式 ・ 資料2 みんなの学校モデルプラン（七小・九小プラン）資料 ・ 資料3 公共施設再配置MAP（素案） ・ 資料4 グループワーク資料		
公開・非公開の別	公開	傍聴者	23人

議事要旨

○座長

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

まず、次第の１、開会です。ただいまから、第３回東大和市公共施設再配置計画策定懇談会を開会いたします。

続きまして、次第の２、会議の公開です。傍聴希望者の確認をいたします。

傍聴の申し出があると伺っておりますので、傍聴者に入室していただきます。ご了承ください。

(傍聴者入室)

○座長

傍聴者の入室が完了しましたので、次第の３、座長挨拶をさせていただきます。

前回４月２２日の第２回会議では、児童・生徒数の推計等のデータを示しながら、学校再配置の順番やスケジュール等について確認しました。また、学校に周辺の公共施設を複合化した地域の拠点「みんなの学校」について、最初に整備を予定している七小・九小統合校をモデルとしたプランを示し、「みんなの学校」がどのようなイメージであるかを共有しました。

その上で、前回はグループに分かれて、地域の大人が児童・生徒を見守るための施設としての工夫や、交流が生まれるための工夫等について、委員の皆様から多様なご意見をいただきました。グループワークの中で、「みんなの学校」についてさらに議論すべきポイントも整理していただきましたので、本日も、その内容を踏まえ、グループワークにより対話を進めたいと考えています。

本日も引き続き、学校施設とその他公共施設の複合化、つまり、「みんなの学校」について皆様に議論し、そのコンセプトをさらに整理していければと思います。よろしくお願いいたします。

では、次第の４、議題に移ります。議題（１）「学校施設とその他公共施設の複合化」について、事務局から説明をお願いいたします。

【議題（１） 学校施設とその他公共施設の複合化について】

資料に基づき、「みんなの学校」検討資料一式、みんなの学校モデルプラン等について説明

【質疑応答等】

○座長

事務局から説明があったとおり、資料１では基本方針について説明がありました。これは、教育環境をこれからどのように実現していくかを定義したものです。一方で、本懇談会では、施設をどう配置していくかという観点も併せて議論してきました。

「みんなの学校」については、教育環境としてこのようなことが実現できるということが整理されています。例えば、体験的学習の充実や国際理解教育の推進といった言葉がありましたが、そうした専門性を持つ人たちに外から学校へ来ていただくこともできますし、関連する機能が学校の中に併設されていれば、より合理的・日常的に連携できるという意味で、「みんなの学校」が教育環境として具体化された資料であると思います。

ここから、学校施設とその他公共施設を複合化する「みんなの学校」について、前回共有した内容に加えて本日の情報提供を踏まえ、より具体的にどのようなものにしていきたいかについて、グループ

ワークの形式で対話しながら意見を出していただきたいと思います。

今説明いただいた資料について、委員の皆様から不明点等があれば受け付けますが、いかがでしょうか。

○委員

最初に七小・九小の統合校が整備されると思いますが、七小・九小を合わせた児童数を、例えば五中の敷地に新しく整備する場合、五中の生徒が現在使っているスペースに加え、児童数も増えることになると思います。そのために教室の数を増やすのか、それとも一つの教室の中に入る子どもの数を増やすのか、その点が気になっています。

○座長

現在あるキャパシティの中で、どのように収めるのかというご指摘だと思います。建物を建て替えるという話もあるかもしれませんが、事務局からいかがでしょうか。

○大野公共施設再編課長

七小・九小の統合校については、五中の敷地を活用し、そこに現在の五中校舎を建替えて「みんなの学校」の施設を整備する予定です。現在の推計では児童数を 485 人程度と見込んでおりますが、その規模と、そこに集約する施設機能を合わせて、新しい建物を整備するという考え方です。

○委員

1 クラス当たりの児童数は、現在と同等の形で考えているのですか。

○座長

1 クラスは 35 人という基準があります。その基準を基に、七小・九小が統合した場合に五中の敷地内に収まるかというシミュレーションを事務局で行っているということだと思います。学校が収まるかどうかだけではなく、今回は「みんなの学校」というテーマを掲げているため、学校以外の機能についても十分に入るかどうかを検証しているということです。

○委員

五中だけではなく、他の学校についても、学校の敷地内に整備していくということだと思います。新たに広大な敷地を確保するわけではないため、600 人程度の学校になる可能性も考えると、教室やその他のスペースが十分に確保され、子どもにしわ寄せが来ないようにしていただきたいと思います。また、地域のためのスペースも作ることになるため、その点も十分に考慮していただきたいと思います。

もう一つ、学校規模が大きくなることで、先生方の負担が大きくなるのではないかとということも気になっています。先日視察した吉川市立美南小学校では、児童数に対して先生の数が少ないように感じました。効率化や先生の負担軽減は必要ですが、先生方にしわ寄せが来ないよう、現場の意見を聞きながら検討していただきたいと思います。

○座長

現場で働いている先生方のことにもきちんと対応すべきであるという、大切な視点だと思います。ありがとうございました。他にご意見、ご質問はありますか。

特にないようですので、ここからグループワークに移りたいと思います。

グループ分けやグループディスカッションのテーマについて、事務局から説明をお願いします。

○大野公共施設再編課長

(資料4「グループワーク資料」に基づき説明)

各委員、前回と異なる3～4人の3グループに分かれていただき、議論をしていただきたいと思います。

前回の第2回懇談会において、次回のグループワークで引き続き「みんなの学校」について議論する際にテーマにしたいことのご意見をいただきました。資料4の3ページ目に前回のご意見を整理しており、それに基づき、本日話し合っていたくテーマを4つに整理しています。

1点目は、「みんな」の概念の明確化です。「みんな」とは誰か、多様な人々を包み込む学校とはどのようなものかについて議論していただきます。2点目は、学校の安全対策です。安全を確保しながら、学校と地域が連携を深めるために、セキュリティをどう確保すべきかについて議論していただきます。3点目は、学校の有効活用です。みんなが集える「開かれた学校」を実現するための時間利用の工夫について議論していただきます。4点目は、地域との接点です。「みんなの学校」が地域づくりの核となるために、学校と地域がどのような交流をするべきかについて議論していただきます。

検討方法として、まず、テーマ①『みんな』の概念の明確化について全グループで議論していただきます。その後、テーマ②から④のうち2テーマを選んでグループで議論していただきます。意見は付せんに書き出し、模造紙に貼ってまとめていただき、最後に各グループから検討結果を発表していただきます。付せんは、黄色を「気になること」、ピンクを「アイデア」、水色を「良いと思ったこと」として使い分けていただきます。

○座長

本日は時間が押していますので、資料4で15分としている他グループの議論内容を共有する時間については、5分程度に短縮し、各グループの議論内容を確認する時間としたいと思います。進行については、随時こちらからお声掛けしますので、安心して議論を進めてください。

【グループワーク】

委員が3グループ分かれて、グループごとにテーマに沿って検討

【グループワークの検討結果の共有】

○座長

時間に限りがありますので、そろそろ各グループの代表の委員の方から、どのような話題で議論が盛り上がったのかを紹介していただき、共有する時間に移りたいと思います。発表順は、第1グループ、第2グループ、第3グループの順にしたいと思います。まず、第1グループから発表をお願いいたします。

【第1グループの発表】

○委員

(テーマ① 「みんな」の概念について)

私たちのグループでは、まず、どのような人たちが学校に来るのかという点について議論しました。様々な方が想定されましたが、結果的には、来ない人はいない、全ての人が対象であるという結論になりました。例えば、ひきこもりの方や、何らかの事情があり現在は地域に出てこられていない方々も、何かのきっかけで来られるようになることも想定されます。

(テーマ③ 学校の有効活用について)

時間のシェアについては、日中に空いている学校の教室を使えるようにできればよいという意見や、日中に公民館として使えるスペースを作ってほしいという意見が出されました。また、土日地域で使える部屋が多いとよいという意見もありました。

一方で、学校が開いている時間も含め、常時地域の方が出入りすることについては、セキュリティ面で検討が必要であるという意見が出されました。24 時間開いている場所があってもよいという意見もありましたが、セキュリティの問題があるため、慎重な検討が必要だと考えます。

活動としては、朝の居場所づくりが面白いのではないかという意見が出されました。例えば、朝に子どもたちへ読み聞かせを行うことや、地域の方から地域に愛着を持てるようなお話を聞かせてもらう時間を設けることが考えられます。

また、日中の授業公開や、運動会、音楽会等のイベントについて、保護者だけでなく、地域の皆様がいつでも見に来てよいということを、「みんなの学校」としてアピールしていけるとよいという意見が出されました。

校庭については、普通の校庭でよいのかという意見がありました。近年は暑さもあるため、木陰やピロティのような日陰のある場所があるとよいと思います。雨の日や曇りの日でも運動できる場所として、日陰や屋根のある空間があるとよいという意見が出されました。

アリーナのような大きな部屋については、時間帯によってシェアできるとよいという意見がありました。また、中央公民館のような大きなホール機能が今後どこに入るのかが気になるため、市民活動の活性化のためにも、大きなホールを日中に市民が使えるようにしてほしいという意見が出されました。

(テーマ④ 地域との接点について)

部活動については、地域の方々に関わっていただく中で、ボッチャ等のパラスポーツを部活動のように行うことも考えられるという意見が出されました。パラスポーツは、高齢者から子どもまで取り組むことができ、障害のある方も含めて交流できるため、地域の方々の力を借りながら、放課後等に交流が生まれるとよいと考えます。

○座長

次に、第2グループから発表をお願いいたします。

【第2グループの発表】

○委員

(テーマ① 「みんな」の概念について)

私たちのグループでも、対象となる方については、「みんな」としか言いようがないほど、あらゆる方が想定されるという意見になりました。市民の施設ではありますが、近隣市の方や在勤の方も含め、決して市民だけの施設ではないという点を確認しました。

一方で、反社会的勢力、明らかな営利活動、特定の考えを一方的に伝えるような活動等については、従来の公共施設の利用規約等と同様に、利用を認めることが好ましくない場合もあるのではないかと意見が出されました。

(テーマ② 学校の安全対策について)

セキュリティについては、スマートキーのようなＩＣシステムを使い、入退室のデータが明確に分かる仕組みを導入することが考えられます。防犯カメラ等も設置しつつ、最終的には人が判断し、何か異常があった際には連絡できる仕組みが必要ではないかという意見が出されました。

電子システムにより入退室管理を行う場合でも、最終的に人数が合わなかった場合の対応は徹底して決めておく必要があります。また、非常口が設置されることを踏まえると、入口が１か所だけであることは望ましくなく、２か所以上あるべきではないかという意見もありました。

施設の使い方としては、初めて来た方でも分かりやすいように、総合案内所のような説明できる場所が必要だという意見が出されました。また、地域の方の専用エリアと児童・生徒のエリアがしっかり分かれるような設計も必要だと考えます。

24 時間何らかの形で利用できる仕組みについても、可能であればメリットがあるのではないかと意見がありました。さらに、飲食については完全に不可とするのではなく、一定程度認める方が利用者にとって使いやすいのではないかと意見も出されました。

セキュリティに関連して、児童・生徒が置いていく荷物、共用の楽器、制作している作品、スポーツ用品等をしっかり保管できるよう、鍵付きのロッカー等を用意する必要があるのではないかと意見もありました。

体育館については、利用後に汗を流して帰れるよう、シャワー設備があるとよいという意見が出されました。これは、災害時に避難所として使用する場合にも活用できるため、お湯が出るシャワーを設置してほしいという意見がありました。

(テーマ④ 地域との接点について)

地域の方々が先生方のお手伝いをする場合には、指導の考え方や方法に差がある可能性があるため、地域の方がどのような形で指導者や先生の代わりを担うのかについて、ルールづくりが必要だという意見が出されました。

最後に、教室や校庭を含め、学校で行われている活動や地域活動の様子が、なるべく外から見えることが重要だという意見がありました。

○座長

最後に、第3グループから発表をお願いいたします。

【第3グループの発表】

○委員

(テーマ① 「みんな」の概念について)

私たちのグループでは、「みんなの学校」における「みんな」のコンセプトについて多くの時間を使って議論しました。当初は、複合する施設が市民を対象とするものが多いため、市民が中心になるのではないかという意見もありました。

しかし、高齢者、働く人、施設を利用する人など、様々な方が関わってきます。例えば図書館についても、市外の方が利用している場合があります。そういう観点から、機能的には市民だけではないという結論になりました。

「みんな」とは、様々な立場でこの施設を利用する方であるという結論になりましたが、一方で、優先順位は出てくるのではないかという意見もありました。例えば、市民の方が優先される場面もあるのではないかという議論がありました。

(テーマ② 学校の安全対策について)

セキュリティについては、10年後を見据えると、IT技術が現在よりも進展していることが想定されますので、顔認証等を活用すれば、カードよりも入りやすく、セキュリティ面でも効果的ではないかという意見が出されました。

また、複合化するメリットを失わないように、セキュリティを厳しくしつつも、開放の要素は残したいという意見がありました。例えば、スケルトンのようなデザインや、中の様子が見えるような工夫により、安全性を確保しながらも開放的な施設にできるのではないかという意見が出されました。最低限必要なセキュリティは確保しつつ、開かれた施設とすることが大切だと考えます。

(テーマ③ 学校の有効活用について)

有効活用については、自習室が必要だという意見が出されました。子どもが勉強したいと思っても、なかなか勉強できる場所がないという課題があり、現在もカフェ等で勉強している学生が見られます。部屋を管理し、場所を提供することができれば、自習室は比較的实现しやすいのではないかと考えますので、「みんなの学校」を整備するタイミングでぜひ検討していただきたいと思います。

また、朝の時間について、登校時間の幅が非常に短く、保護者として慌ただしさを感じる場面があります。朝の時間に30分から40分程度のゆとりがあり、そこを地域の方と連携して開放していただければ、保護者にもゆとりが生まれ、小学校での子育てがしやすくなるのではないかという意見が出されました。

放課後については、塾に行ける子どもと行けない子ども、体験できることの差など、体験格差の課題があります。地域の方々と協力し、放課後に「みんなの学校」へ行けば様々な経験ができる、勉強を教えてもらえる機会がある、という場所になるとよいという意見が出されました。

さらに、保護者が集まる際、大人数で集まれる場所や、子どもと一緒にいても使いやすい場所が意外と少ないため、飲食スペースや親子で集まれるスペースとして活用できるとよいという意見もありました。

○座長

3グループからそれぞれご意見をいただきました。

本日は、「みんなの学校」というテーマの下、「みんなの学校」だからこそできることについて多くの意見が出されました。例えば、朝の時間を工夫することで保護者にゆとりが生まれることや、部活動の地域移行が話題になっている中で、地域の方との連携により部活動を地域で支えることができるのではないかと意見がありました。

一方で、「みんなの学校」だからこそ、より丁寧に考えなければならない点もあります。セキュリティの問題のほか、地域の方が指導に関わる際には、それぞれに考え方がるため、一定のルールが必要ではないかという意見が印象的でした。また、現在の公民館が集約される場合、これまでその施設を利用していた方々にとっては遠くなる可能性があるため、その方々をどうフォローしていくのか、地域全体で「みんなの学校」が愛されるようにするにはどのような工夫が必要かという議論もありました。

そもそも、「みんなの学校」以前の話として、これからの公共施設をどうしていくべきかという議論は、別の場面でも必要になると思います。その意味で、「みんな」とは誰か、公共施設を使う人たちは誰かを改めて考えるきっかけとしても、良い議論ができたと感じています。

ここからさらに整理していく事務局は大変だと思いますが、様々なアイデアをいただくことができ、次につながる議論になったと思います。皆様、ありがとうございました。

ここまででグループワークを終了します。続いて、議題2、その他について、何かあれば事務局からお願いいたします。

○大野公共施設再編課長

今回の懇談会については、現時点では8月3日に開催させていただく方向で考えておりますが、改めて調整させていただきたいと思います。今回までが、「みんなの学校」についての議論でしたので、次回はそれ以外の内容についてご議論いただきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

○座長

ありがとうございます。本日の議題は以上となりますが、全体を通して、委員の皆様からご意見やご質問等がありましたらお願いいたします。

○委員

1点伺います。前回、公共施設再配置計画については市民の関心が高いため、市ホームページに分かりやすく掲載してはどうかと申し上げました。その検討状況について伺いたいと思います。

市民プールが使えなくなることや、地域の祭り等に関する情報についても、市民からすると置いていかれているように感じる部分があります。今回、地域と連携して進めていくという中で、きちんと連携していけるのか不安を感じています。大事な情報を市ホームページに掲載することは難しいのか、確認させてください。

○大野公共施設再編課長

前回、委員からご意見をいただいております。現在、検討しております。ホームページの階層の中に公共施設再配置に関するページがありますが、例えばトップページから直接行けるような形にできないか、検討しているところです。まだ形にはできておりませんが、ご意見をいただき、考えさせていただいているところです。

○座長

座長からも、できれば次回までに確実に対応していただくようお願いしたいと思います。これは非常に大事なことです。やはり周知しなければならないので、私もフォローしますので、何とか進めていただきたいと思います。

○大野公共施設再編課長

対応できるよう進めたいと思います。

○座長

他にご質問等がありますか。よろしいでしょうか。

もし何か気づかれた点等がありましたら、後日事務局までお問い合わせいただければと思います。

以上で、本日の議題は全て終了いたしました。これをもちまして、第3回東大和市公共施設再配置計画策定懇談会を閉会いたします。ありがとうございました。

以上